

令和 7 年度

沖縄県立芸術大学

総合型選抜 実技検査等

＜試験曲＞

注：

本冊子は令和 7 年度総合型選抜の試験曲です。学校推薦型選抜、一般選抜の実技検査等については令和 6 年 7 月下旬公表予定の『音楽学部試験曲』をご覧ください。



沖縄県立芸術大学
OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

総合型選抜 試験内容および試験曲等

《専攻試験》

(1) 音楽表現専攻声楽コース

注意事項：課題曲、自由曲とも暗譜で歌うこと。歌詞は原語で歌うこと（ただし、曲によっては通例歌われている他の外国語で歌うことも可）。

伴奏者は本学で用意する。ただし、事前の伴奏合わせはない。

時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

＜課題曲＞ 下記の課題曲 17 曲の中から任意の 1 曲を選択し、入学願書に記入すること。

課 題 曲

①	M. A. Cesti	Intorno all'idol mio	(c-moll, d-moll, e-moll, f-moll)
②	G. B. Pergolesi	Se tu m'ami	(es-moll, f-moll, g-moll)
③	A. Scarlatti	Se tu della mia morte	(e-moll, g-moll, f-moll)
④	A. Scarlatti	Già il sole dal Gange	(G-dur, As-dur, B-dur)
⑤	G. B. Bononcini	Per la gloria d'adorarvi	(G-dur, F-dur, Es-dur)
⑥	A. Scarlatti	Sento nel core	(d-moll, es-moll, f-moll, g-moll)
⑦	F. Gasparini	Lasciar d'amarti	(d-moll, f-moll, g-moll)
⑧	F. Durante	Vergin, tutto amor	(h-moll, c-moll, d-moll)
⑨	W. A. Mozart	Das Veilchen	(E-dur, G-dur)
⑩	F. Schubert	An die Musik	(B-dur, C-dur, D-dur)
⑪	F. Schubert	Frühlingsglaube	(F-dur, G-dur, As-dur)
⑫	R. Schumann	Die Lotosblume	(Des-dur, Es-dur, F-dur)
⑬	弘田龍太郎	浜千鳥	(C-dur, Es-dur)
⑭	瀧廉太郎	荒城の月	(c-moll, d-moll)
⑮	山田耕筰	かやの木山	(C-dur, D-dur)
⑯	平井康三郎	ゆりかご	(E-dur)
⑰	高田三郎	くちなし	(F-dur)

* () 内の調は、本学が用意する伴奏用楽譜の調である。他の調で歌う場合は、希望の調の伴奏用楽譜を出願書類とともに提出すること。

* イタリア歌曲は外国版を使用する時は、伴奏用楽譜を出願書類とともに提出すること。

＜自由曲＞ 課題曲以外の任意の曲。曲数は問わないが、自由曲は 7 分以上 10 分以内とする。

※ 自由曲で演奏する全ての楽曲は、出願書類とともに楽譜を提出すること。

※ 演奏する曲目を入学願書に記入すること。

※ 入学後はクラシックの声楽作品を学びます。

(2) 音楽表現専攻ピアノコース

注意事項：課題曲は A, B, C の順に演奏し、すべて暗譜で演奏すること。

繰り返しは省略する。時間の都合により演奏の一部を省略または中断を求めることがある。

下記の課題曲 A, B, C についてそれぞれ任意の曲を 1 曲選択し、入学願書に記入すること。

<課題曲 A>

J. S. Bach：平均律クラヴィア曲集第 1 巻または第 2 巻より任意の 1 曲
(プレリュードとフーガ)

<課題曲 B>

F. Chopin：練習曲 Op.10 または Op.25 より任意の 1 曲 (Op.10-3, Op.10-6, Op.25-7 を除く)

<課題曲 C>

L. v. Beethoven：ピアノ・ソナタ (Op.2-1～Op.90) より任意の第 1 楽章
(Op.27-1, Op.27-2, Op.49-1, Op.49-2, Op.79 の 5 曲を除く)

(3) 音楽表現専攻弦楽コース

注意事項：すべて暗譜、無伴奏で演奏すること。記号による反復は行わない。

試験曲のうち、指定した版のある曲以外は、どの版を使用しても良い。

時間の都合により演奏の一部省略又は中断を求めることがある。

課題曲 (コントラバスは課題曲 B) で演奏する曲目を入学願書に記入すること。

◆ヴァイオリン

<音階>

Carl Flesch：Scale system より任意の調一つを選択。

5 番 (3 オクターヴの音階 Tempo は $J=80\sim100$) 全部。

6 番 (3 度の音階 Tempo は自由) 冒頭 4 小節。

7 番 (6 度の音階 Tempo は自由) 冒頭 4 小節。

8 番 (8 度の音階 Tempo は自由) 冒頭 4 小節。

*フィンガリングは自由。

*スラー、リズムは C-dur に準じること。ただし重音のスラーは
一拍ずつのスラーで演奏すること。

<課題曲>

任意のヴァイオリン協奏曲より第 1 楽章 (カデンツァは除く。ただし、作曲者が曲中に著したものについては演奏すること)

◆ヴィオラ

<音階>

C-dur の音階。Tempo は♩=80 以上

フィンガリングは自由。ただしボーイングは譜例に従うこと。



<課題曲>

任意のヴィオラ協奏曲より第1楽章（カデンツァを除く）

◆チェロ

<音階>

J. Loeb: Gammes et arpèges より任意の調1つを選択。

4オクターブの音階、4オクターブの分散3度を、4つずつのスラーで。

4オクターブのアルペッジョを、3つずつのスラーで。

2オクターブの3度重音、6度の重音を、スラーなしのレガートで。

<課題曲>

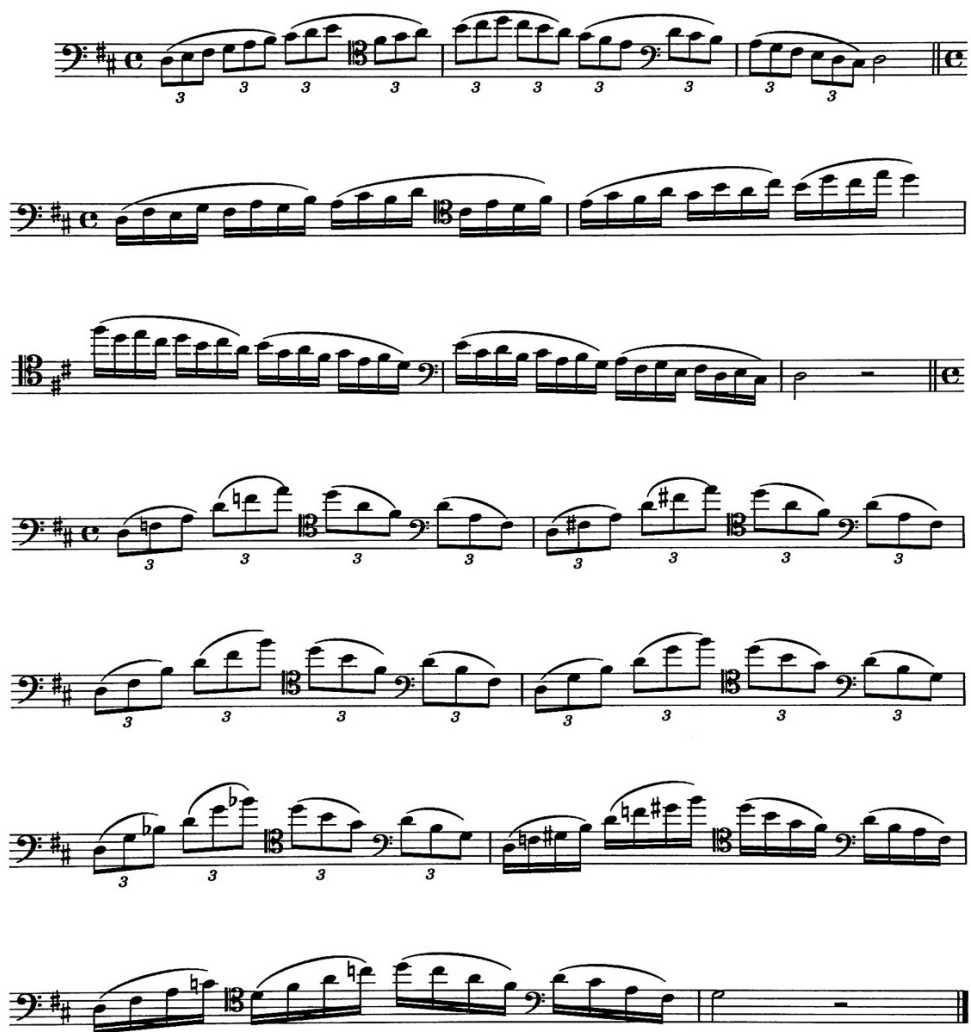
任意のチェロ協奏曲より第1楽章（カデンツァを除く）

◆コントラバス

<音階>

下記の楽譜の調性で演奏する。

フィンガリングは自由。ただしボーイングは譜例に従うこと。



<課題曲 A>

F. Simandl : 30 Etudes より任意の 1 曲を選択。

<課題曲 B>

任意のコントラバス協奏曲より第 1 楽章（カデンツァを除く）

(4) 音楽表現専攻管打楽コース

注意事項：無伴奏で演奏すること。暗譜でなくてもよい。

時間の都合により演奏の一部省略又は中断を求めることがある。

【木管楽器】

◆フルート

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① E. Koehler : 35 Exercises op.33 第2巻 (12 Medium Difficult Exercises) より No. 1, 5, 6, 8, 10, 12
の中から1曲を当日指定する。(版は自由)
- ② W. A. Mozart : Concerto in D major K314 より第1楽章 (カデンツァを除く、版は自由)

◆オーボエ

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① F. W. Ferling : 48 Etudes op.31 より No.1~No.6 の中から1曲を当日指定する。(版は自由)
- ② J. Haydn : Concerto in C major Hob.VIIg:C1 より第1楽章 (カデンツァを除く、版は自由)

◆クラリネット

<音階>

R. Eichler : Scales for Clarinet 全長調の1番の中から演奏する。

調、アーティキュレーションは当日指定する。

(国立音楽大学教育出版部)

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C. Rose : 32 Etudes より No.13~No.20 の中から1曲を当日指定する。(Leduc 版)
- ② C. M. v. Weber : Concertino für Klarinette und Orchester Es-dur op.26 J.109
(版は自由)

◆ファゴット

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① J. Weissenborn : Studies for Bassoon op.8 vol.2 より No.4, 6, 8, 10, 13, 14 の中から 1 曲を当日指定する。(版は自由、繰り返しなし)
- ② A. L. Vivaldi : Concerto in la minore F8/7 RV497 より 第 1 楽章 (Ricordi 版)

◆サクソフォーン

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① F. W. Ferling : 48 Etudes pour tous les saxophones より No.5, 6, 11, 12, 17, 18 の中から数曲当日指定する。(Leduc 版)
- ② P. Creston : Sonata op.19 より 第 1 楽章

【金管楽器】

(共通課題)

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

譜例



◆ホルン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

① C. Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.3, 13, 15 の中から 1 曲、No.17, 26, 28 の中から 1 曲の計 2 曲を当日指定する。(Carl Fischer 版、繰り返しなし)

② W. A. Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr.3 Es-dur KV 447 より第 1 楽章
(カデンツァを除く、Breitkopf&Härtel 版)

◆トランペット

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

① C. Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.8, 10, 12, 15, 19 の中から 1 曲を当日指定する。
(Carl Fischer 版、繰り返しなし)

② T. Charlier : Solo de Concours (Schott 版)

◆テナートロンボーン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

① C. Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.5, 6, 7, 8, 9 の中から 1 曲を当日指定する。
(版は自由、繰り返しなし)

② A. Guilmant : Morceau Symphonique op.88 (版は自由)

◆バストロンボーン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

① C. Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.6, 7, 8, 9 の中から 1 曲を当日指定する。
(1 オクターヴ下げて演奏する、版は自由、繰り返しなし)

② A. Guilmant : Morceau Symphonique op.88 (Reift 版)

※テナー用の原曲を完全 4 度低く移調したバス・トロンボーン用の編曲で演奏すること。

◆チューバ

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

① C. Kopprasch : 60 Studies より No.3, 10, 14, 15, 19, 20 の中から 2 曲を当日指定する。

(Robert King 版、繰り返しなし)

② J. S. Bach : Air and Bourrée (W.J.Bell 編曲 Carl Fischer 版)

※使用楽器は、B♭、C、F 管のいずれかとする。

◆打楽器

打楽器 (A)、打楽器 (B) のどちらかを選択し入学願書に記入すること。

打楽器 (A) で受験する者は課題曲①の番号を入学願書に記入すること。

打楽器 (B) で受験する者は課題曲②の記号と曲名を入学願書に記入すること。

打楽器 (A) 小太鼓

<音階>

マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調は当日指定する。

譜例



<小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、五つ打ち、七つ打ち、九つ打ちの中から当日指定する。

奏法は任意とする。(小太鼓を使用して演奏、響き線無し)

<課題曲> 次の①、②、③を演奏する。

① C. S. Wilcoxon : The All-American Drummer より No.35~46 の中から任意の 2 曲を選んで演奏する。(Ludwig Masters 版)

② A. J. Cirone : Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare drum より No.3, 6, 13, 31 の中から 1 曲を当日指定する。(YMM 版)

③ M. Gordenberg : Modern school for Xylophone, Marimba, Vibraphone 39 Etudes より I (Chappell & Co 版)

打楽器 (B) マリンバ

<音階>

マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調は当日指定する。

譜例



<小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、五つ打ち、九つ打ちの中から当日指定する。

奏法は任意とする。(小太鼓を使用して演奏、響き線無し)

<課題曲> 次の①、②、③を演奏する。

① M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone 39 Etudes より V、
XII、XIV、XVIIIから1曲を当日指定する。(Chappell & Co 版)

② J. S. Bach : Sonaten und Partiten für Violine Solo BWV1001-1006

イ〜ハの中から任意の1曲を選択して演奏する。(版は自由、繰り返しなし)

イ : Sonata I より Fuga Allegro (55 小節目 1 拍目まで)

ロ : Partita I より Tempo di Bourree

ハ : Partita III より Gavotte en Rondeau

③ W. F. Ludwig : Collection Drum Solos より 8 ページ Col. Andrews'
(Ludwig Music Publishing 版)

(5) 音楽表現専攻作曲理論コース

<実技検査>

筆記試験…90 分

和声課題の実施。ソプラノ課題およびバス課題を四声体で実施する。

<口述試験>

実技検査で実施した和声課題、出願者自身の作曲または編曲作品の楽譜、音楽への意欲などに関する質疑を実施する。

提出作品には、ソナタ形式の作曲作品を1曲以上含むこと。

※提出作品の楽譜(製本せず表紙を含め、無記名)は出願書類と一緒に、提出すること。なお、口述試験の際に、提出した楽譜コピーを持参すること。

(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース

<小論文>

次の①から③の課題図書から1冊を選び、問1、問2に答えなさい。

【課題図書】

①青柳いづみこ『ボクたちクラシックつながり-ピアニストが読む音楽マンガ』(文藝春秋、2008)

②野村 誠『音楽の未来を作曲する』（晶文社、2015）

③渡辺 裕『聴衆の誕生-ポスト・モダン時代の音楽文化』（中公文庫、2012）

問1．あなたが選んだ課題図書において、最も興味をもった章を1つ選び、その章の概要を要約しなさい。（200字から300字程度）

問2．問1をふまえて、著者の主張に対するあなた自身の考えについて論じなさい。（1,000字から1,200字程度）

任意の原稿用紙（400字詰め）を用い、手書きで書くこと。ただし、問1を1枚、問2を3枚程度の原稿用紙に分けて解答し、各ページ上部にページ番号を記すこと。

※小論文の原本は、出願書類と一緒に提出すること。

※提出した小論文のコピーは必ず取っておくこと。

〈口述試験〉

小論文の内容及び課題図書に関する質疑等を行う。

※提出した小論文のコピーを試験当日に持参すること。

※課題図書を必ず持参すること。

(7) 音楽文化専攻音楽学コース

〈小論文〉

次の①から③の課題図書から1冊を選び、問1、問2に答えなさい。

【課題図書】

①青柳いづみこ『ボクたちクラシックつながり-ピアニストが読む音楽マンガ』（文藝春秋、2008）

②野村 誠『音楽の未来を作曲する』（晶文社、2015）

③渡辺 裕『聴衆の誕生-ポスト・モダン時代の音楽文化』（中公文庫、2012）

問1．あなたが選んだ課題図書において、最も興味をもった章を1つ選び、その章の概要を要約しなさい。（200字から300字程度）

問2．問1をふまえて、著者の主張に対するあなた自身の考えについて論じなさい。（1,000字から1,200字程度）

任意の原稿用紙（400字詰め）を用い、手書きで書くこと。ただし、問1を1枚、問2を3枚程度の原稿用紙に分けて解答し、各ページ上部にページ番号を記すこと。

※小論文の原本は、出願書類と一緒に提出すること。

※提出した小論文のコピーは必ず取っておくこと。

〈口述試験〉

小論文の内容及び課題図書に関する質疑等を行う。

※提出した小論文のコピーを試験当日に持参すること。

※課題図書を必ず持参すること。

(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース

注意事項：＜課題曲＞＜自由曲＞の試験は、各自持参した楽器を使用すること。ただし、箏は本学で準備したものを使用してもよい。

＜課題曲＞の工工四使用は任意とする。ただし、＜自由曲＞は暗譜で演奏すること。

◆歌三線

＜課題曲＞

・かぎやで風節

・上り口説 ※1、2、3、8番

・秋の踊り（道輪口説） ※1、2、3、4番

※上記3曲の中から1曲を選択し、入学願書に記入すること。

＜自由曲＞

琉球古典音楽、八重山古典民謡、沖縄（沖縄本島・宮古・八重山含む）・奄美の民謡から任意の1曲を選択し、入学願書に記入すること。ただし、菅攪・手事など歌を伴わない曲を除く。

※本コースでは、入学後、琉球古典音楽を学びます。

◆琉球箏

＜課題曲＞

瀧落菅攪

＜自由曲＞

琉球古典音楽、八重山古典民謡、沖縄（沖縄本島・宮古・八重山含む）・奄美の民謡から任意の1曲を選択し、入学願書に記入すること。ただし、菅攪・手事など歌を伴わない曲を除く。

※本コースでは、入学後、琉球古典音楽（琉球箏曲）を学びます。

(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース

注意事項：＜課題曲＞＜自由曲＞の地謡用音源（CD）は、出願書類と一緒に提出すること。

＜課題曲＞

かぎやで風

＜自由曲＞

琉球舞踊、八重山舞踊等、創作舞踊の中から1演目を選択し、入学願書に記入すること。

演舞時間は8分以内とする。

＜組踊の唱え＞

下記の組踊の詞章を模倣者に続いて唱えること。

組踊「執心鐘入」より

若松詞

わぬや中城

若松どやゆる
みやだいらごとあてど
首里にのぼる
廿日夜のくらす
行く先やまよて
ことに山路の
露もしげさ
あの村のはづれ
火の光たよて
立寄り今宵
あかしぼしやの

出典：伊波普猷『校註琉球戯曲集』（榕樹社、1992）

※本コースでは、入学後、琉球舞踊・組踊を学びます。

《プレゼンテーション》

※出願時に本学指定様式による「プレゼンテーション形式申告書」を提出すること。

※プレゼンテーション実施に関する注意事項については大学ウェブサイトで発表する。（7 月下旬予定）

※使用できるアプリケーションは Microsoft PowerPoint、Acrobat Reader（PDF）とする。

※各専攻の指定する日程にデータを入れた USB と、データをプリントアウトした紙媒体 1 部）を持参すること。

音楽表現専攻

「あなたがこれまで取り組んだ活動の中で、興味を持ち調べたこと」について、プレゼンテーション形式で 5 分以内にまとめて発表を行うこと。

【留意事項】

- ・楽器演奏、歌唱、演舞を含まず発表を行うこと。
- ・発表に使用するパソコンは大学で用意する。

プレゼンテーションで実施できる方法は「プレゼンテーション形式申告書」の「プレゼンテーションの実施方法」を参照すること。

※プレゼンテーションの実施方法にかかる注意事項は、本学ウェブサイトで 7 月下旬に公表されるので確認すること。

音楽文化専攻

「あなたの興味のある音楽文化」についてプレゼンテーション形式で 5 分程度にまとめて発表を行うこと。

【留意事項】

- ・発表中に楽器演奏、歌唱、演舞を行なっても良い。ただし、曲の途中で中断を求めることがある。

- ・発表に使用するパソコンは大学で用意する。
- ・大学で用意できる楽器はピアノのみ。その他、演奏に使用する楽器は受験者本人が持ち運びできる範囲とする。(電子楽器は不可)
- ・舞踊等を行う場合には、伴奏音源を CD のみとし、受験者本人が準備すること。(再生機器は大学で用意する)

プレゼンテーションで実施できる方法は「プレゼンテーション形式申告書」の「プレゼンテーションの実施方法」を参照すること。

※プレゼンテーションの実施方法にかかる注意事項は、本学ウェブサイトで7月下旬に公表されるので確認すること。

琉球芸能専攻

「専攻試験で演奏・演舞した課題曲、または自由曲の特徴」について、プレゼンテーション形式で5分程度にまとめて発表を行うこと。

【留意事項】

- ・発表中に楽器演奏、歌唱、演舞を行なっても良い。ただし、曲の途中で中断を求めることがある。
- ・発表に使用するパソコンは大学が用意する。
- ・演奏に使用する楽器は受験者本人が準備すること。(ピアノ、電子楽器は使用不可)
- ・舞踊等を行う場合には、地謡用音源を CD のみとし、受験者本人が準備すること。(再生機器は大学で用意する)

プレゼンテーションで実施できる方法は「プレゼンテーション形式申告書」の「プレゼンテーションの実施方法」を参照すること。

※プレゼンテーションの実施方法にかかる注意事項は、本学ウェブサイトで7月下旬に公表されるので確認すること。

《書類審査・面接》

全専攻共通

書類審査及び面接のために、本学指定様式による「活動報告書」「志願理由書」の提出を求める。

また、人物の志向性や学習に対する意欲、芸術を志す者としての資質等を多角的に評価するため 15分程度の面接を実施する。